

令和4年3月28日

学校関係者評価報告書（令和3年度）

評価委員

林 敦史 一般社団法人岐阜県自動車整備振興会 教育部 部長
坂中 孝行 株式会社ネクステージ 整備部 部長
森 真人 岐阜トヨタ自動車株式会社 人事部 採用教育室 室長
渡邊 隆 元中学校校長
福井 正美 本校卒業生
度會 和也 本校卒業生

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和3年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

3. 評価項目

評価の観点はこの4項目とする。

- ・ 自己評価の内容が適切かどうか
- ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・ 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・ 学校運営の改善に向けた実際的な取組みが適切かどうか。

4. 実施方法

今年度は、コロナ禍の影響により密室における多人数での会議を見送り、会議に提示する資料を各委員に送付し、それらに対する意見を集約し、これに対する学校側の意見を付して返付することで会議の実施とした。なお、各委員に送付した資料は、当校で行った自己評価アンケートの集計結果とした。手順は1月に資料等を各委員に送付、2月中に当校へ返却、3月以降委員からの意見集約及びその意見に対する当校のスタンスを記載し、委員に返送。

5. 評価項目の達成及び取組状況について各委員からの意見

(1) 教育理念・目標

[委員] 新体制により外部にも広く認知され、歴史のある学校の教育理念や教材を有効活用し、新たな学校運営がなされていることを確認しました。企業との連携を生かすことで、更なる強みを生かした教育に期待します。

[学校] 学校教育法に基づき、優れた人格と対人対応能力を基礎とした人間性の育成を教育に根幹をおき、自動車産業におけるサービスの質的向上を目指します。

(2) 学校運営

[委員] 学生数確保がどの学校でも難しい中で、総定員充足率の安定を目標とし、入学希望者減少への対策や工夫をお願いします。

[学校] 広報担当者を拡充し、留学生へのアプローチや在校生のフォローの充実させます。

(3) 教育活動

[委員] 養成施設のカリキュラムにある 200 時間のインターンシップは、学生の質の変化も含めて十分に対応できているか。

[学校] 学内では体験出来ないことであり就職先にも直結するのでメカニクの意識向上に繋がっていると感じている。

[委員] 留学生増加に伴い日本語の文書理解力をどのように教育、自動車の基本的な構造・知識の理解、メンタルヘルスの支援体制はどうなっているのか。

[学校] 留学生に対しては、個別指導、日常生活指導を実施し、サブ教材として漢字等にルビを付したプリントを使用する等、日本語教育を平行で行うこととしている。

[委員] 次世代自動車、自動運転の導入に伴い、教育すべき新たな取り組みが必要なのではないか。どのような装置がどのような制御をしているのか実習で身につけられるのか。特定整備に関わる実習を、各メーカー企業で研修が受けられないか。

[学校] 次世代自動車の技術に対応すべく特定認証を受け、自動運転に係るセンサーの点検のためにエーミング作業ができる環境を設置し、1 級だけでなく 2 級のカリキュラムにも使用していく。同時に OBD 検査の実施に対応すべく、スキャンツール（外部診断機）の台数も増設。電子装置に関わる学習も充実させる。就職先を含め企業連携授業の開催を増やし最新技術の習得を目指します。

(4) 学習成果

[委員] 今後は留学生も同時に合格率や就職率を維持できるのか。様々な国籍や環境の違いなど教育側の柔軟な対応が必要。企業は即戦力を求めるが 2 年間で習得ができるのか。職員のスキルアップはどのようにしているのか。

[学校] 留学生に関しては必要であれば個別指導や補習、補講を中心に学力の向上に努め、教職員に関しては各自動車メーカーが行っている最新技術の講座を積極的に受け入れスキルアップを図ります。

(5) 学生支援

[委員] 学生支援については満足できる水準ではあるものの毎年一定数の退学者が発生しており個別指導や留学生特有の対策が必要ではないか。

[学校] 留学生には就職先をしっかりと確保し、卒業後においても日本で働ける環境を整備することで、安心して本校で学ぶ事のメリットを理解させる指導を行います。

(6) 教育環境

[委員] 伝統ある学校のため、施設設備に古いものも多くみられるが、拡充などはどのようなになっているのか。

[学校] 施設の拡充は順次、整備機器の追加、新規格へ変更、各教室にプロジェクター設置、Wi-Fi環境の整備を行います。また、学生1人1台のタブレットを使用し、動画等を使うことでより授業内容の理解の向上を目指します。

(7) 学生の受け入れ、募集

[委員] オープンキャンパスへの生徒の誘致方法や専門学校としてのPRはどのようにしているのか。経済的に困難な家庭への支援はあるのか。企業奨学金の拡充についてはどうなっているのか。

[学校] オープンキャンパスの誘致は、高校ガイダンス、会場ガイダンス、郵送によるDM発送を行っています。大学、短大を卒業後の就職が困難な状況もあり、専門学校(大学校)がより就職に有利であるとのアピールをしています。コロナ禍でもより柔軟な就職指導ができるのも専門学校であり、就職に強いイメージをオープンキャンパスやガイダンスの参加者、進路指導主事にも伝えていきます。企業奨学金については、これまで以上に拡充すべく、働きかけを行うこととしています。

(8) 財務

[委員] 経費節減、教育研究経費・管理経費の在籍者数に応じて意図的削減が必要であり、生徒の確保が重要ではないか。

[学校] 法人として健全な財務状況になるように中長期で財務計画を立てており適正に運営し外部監査を受けている。生徒数の確保に関しては、学内進学者や中途退学者の制御に一層の注力と改善を目指します。

(9) 法令等の遵守

[委員] 学校運営の法令上の適正な運営がなされているか。個人情報対策は取れているか。

[学校] 本校は国から自動車整備士養成施設の指定を受けており、指定に必要な規則等の遵守、生徒等の個人情報管理を徹底し、十分注意しています。

(10) 社会貢献・地域貢献

[委員] ボランティア等含めた社会貢献活動はなされているか。

[学校] 職能団体の研修会等開催に必要な教室および学校施設を提供、小学校、中学校

の総合学習への講師派遣、また学校周辺の清掃や、福祉施設の車いす点検整備
等地域密着型のボランティア活動を実施しています。